

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公表番号】特表2008-513925(P2008-513925A)

【公表日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2007-532356(P2007-532356)

【国際特許分類】

G 11 C 16/02 (2006.01)

G 11 C 16/06 (2006.01)

【F I】

G 11 C 17/00 601Q

G 11 C 17/00 632A

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月29日(2008.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

命令を実行する処理ユニットと、

同処理ユニットに結合し、同処理ユニットから制御信号を受信することに応答して第1の所定の動作を実施する回路と、

集積回路に供給される電源電圧が、所定の電圧レベルより低いかどうかを判定する低電圧検出回路と、を備える集積回路であって、

前記第1の所定の動作が前記回路で行われることに応答して、前記低電圧検出回路の動作をイネーブルする電圧検出イネーブル信号が供給され、前記電源電圧が所定の電圧レベルより低い場合、前記低電圧検出回路によって、集積回路で第2の所定の動作が始動されるようとする集積回路。

【請求項2】

チャージポンプをディスエーブルする方法であって、

プログラム信号および消去信号の一方の信号に応答して第1検出イネーブル信号を供給すること、

前記電源端子の電圧が所定レベルを超える場合、前記第1検出イネーブル信号に応答して電圧有効信号を供給すること、および、

前記電圧有効信号がアサートされていないことに応答して前記チャージポンプを放電させることを含む方法。

【請求項3】

前記ディスエーブルすることは、前記高電圧イネーブル信号がアサートされていないときに、高電圧イネーブル信号に応答して前記チャージポンプをディスエーブルすることとさらにみなされる請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記高電圧イネーブル信号は、

ロック保護信号がアサートされること、

プログラムまたは消去制御シーケンスエラーの発生、

リセット信号がアサートされること、および、

前記電圧有効信号がアサートされないこと

のうちの 1 つまたは複数に応答してアサートされない請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記電源端子の電圧が前記所定の電圧より低いことに応答して、電圧ロー信号を生成すること、および、前記電圧ロー信号が生成されることに応答して、低レベル割り込み信号を生成することをさらに含む請求項 2 に記載の方法。